



四国化工機株式会社 阿南食品工場

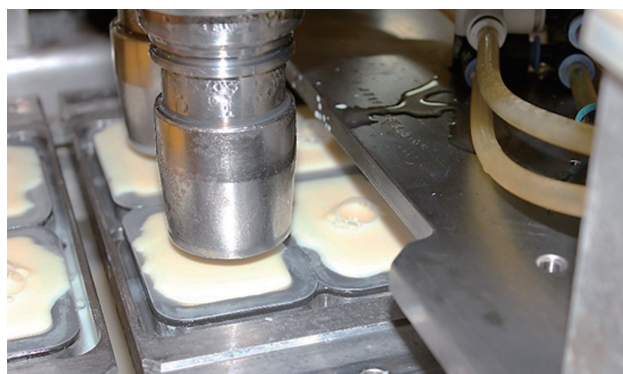
生産監視用ネットワークカメラシステムの新設による 製品の安全性確保・品質の確保対策事業



実施した事業の概要と成果

食品メーカーに対する高い安全管理への市場ニーズは昨今の異物混入や毒物混入事件を発端に急激に高まっている。また大手流通からも生産管理・品質保証面でフードディフェンスの取組み強化が求められている。

これらのニーズに対応するためにネットワーク監視カメラシステムを県内外の各生産拠点に導入し、品質・生産管理機能を強化した。このシステムで得られたフードディフェンスに関する情報は、各拠点だけでなく本部で情報管理を行っており、トラブル時の原因追求、再発防止策の策定が容易に行え、生産管理機能がより強化されたことで製品の安全性確保、品質の確保・向上が図れた。



4回分豆腐自動製造機 (充填部)



絹ごしとうふ (シール直前)



製品開発や課題解決の具体的取組み

フードディフェンスを目的とした生産監視用ネットワークカメラシステム導入上の課題に対し、必要な課題解決策を実施した。

- ① 製造機器の状態監視のために、生産監視用カメラを設置し稼働状況のモニタリングを実施した。
- ② 製造設備の不具合状態管理を含めた記録撮影ができるように、製造設備の配置に応じて撮影位置を変更できる移設可能型カメラを各生産拠点に設置した。
- ③ 製造上における重要管理部の作業内容が、容易に監視できる位置にカメラを設置した。
- ④ 賞味期限が異なる生産アイテム毎に記録画像の保存日数を設定する必要があるため、各生産拠点毎に、それぞれの商品特性に合わせて常時録画できる時間を設定した。
- ⑤ 通用口については、監視カメラを設置することで外部侵入を防止しセキュリティーを強化した。



事業者	四国化工機株式会社
代表者	代表取締役社長 植田 滋
設立年月	昭和36年6月
所在地等	〒772-0287 徳島県板野郡北島町 太郎八須字西の川10番地の1 TEL：088-698-4141 FAX：088-698-7391 http://www.shikoku-kakoki.co.jp/
事業区分	ものづくり技術
資本金額	1億4,500万円
従業員数	710人
業 種	製造業（機械・食品・包材）

四国化工機株式会社の

代表取締役社長
植田 滋



本事業取組みへのきっかけと目的

食品の安全・安心を確保するには、ソフト面のみならず、ハード面においても、フードディフェンス体制を構築することが重要である。食品の汚染の未然防止やトレーサビリティの点から、異物混入などの行為を監視、抑制すべく、システムの構築を行った。

今後の展望と活動予定

生産監視用ネットワークカメラシステムの導入による食品汚染対策におけるリスク低減効果の有効性をお客様に説明し、食品サプライヤーとして安心・安全な商品を提供すべく取り組んでいく。